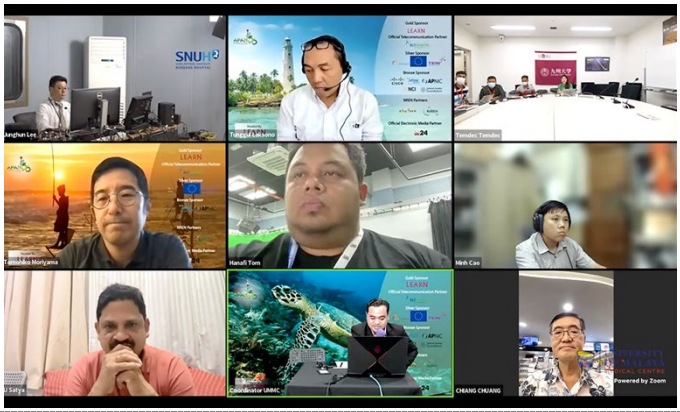
#1770

2023.08.21

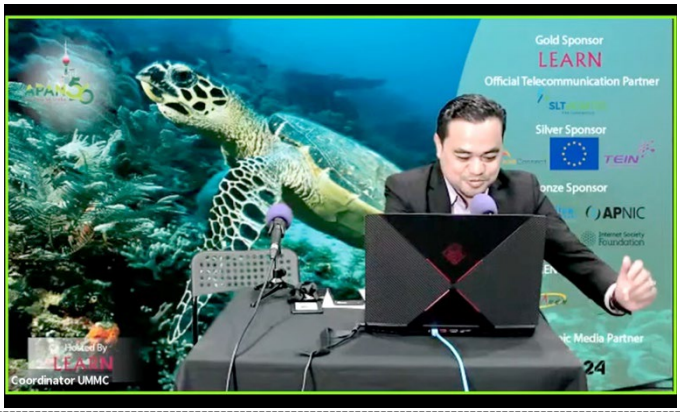
第56回 APAN会議 テクノロジー

【 参 加 施 設 】	【 概 要 】
ゴール フェイス ホテル（スリランカ），国立台湾大学（台湾），国家実験研究院（台湾），九州大学病院（日本），アジア消化器センター（インド），マラヤ大学（マレーシア），ブラウィジャヤ大学（インドネシア），NASATI オフィス（ベトナム），ブータン ケサルギャルポ医科大学（ブータン），ネパール地域医療遠隔医療センター（ネパール），ソウル大学ブンダン病院（韓国），ムワルディ総合病院（インドネシア），マレーシアサインズ大学（マレーシア），カリアディ総合病院（インドネシア），スマトラウタラ大学（インドネシア），スリウィジャヤ大学（インドネシア）	本セッションでは、「遠隔医療での高度なセットアップ」に焦点を当てた。5名の発表者がそれぞれの経験と最新の遠隔医療用機材のセットアップについて共有した。高度な遠隔医療のセットアップにはさらに複雑な設定と高度な機材に加えて、より良い音質と映像を得られるスタジオのような部屋が必要である。このセッションは参加したエンジニアにとって互いを刺激する非常に魅力的なもので、各々の施設でのセットアップを改善する助けとなった。



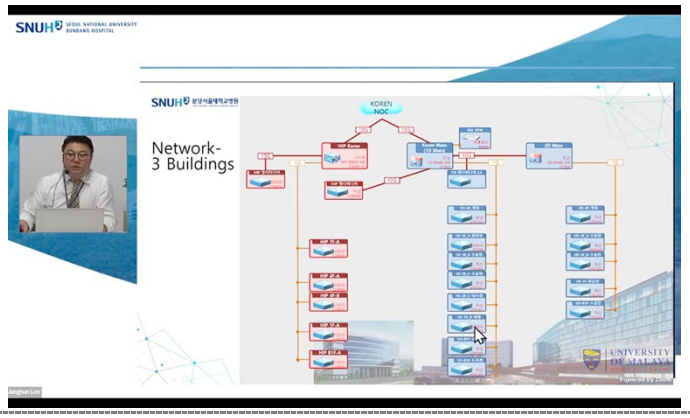
モニタに表示される接続施設

撮影場所：九州大学病院



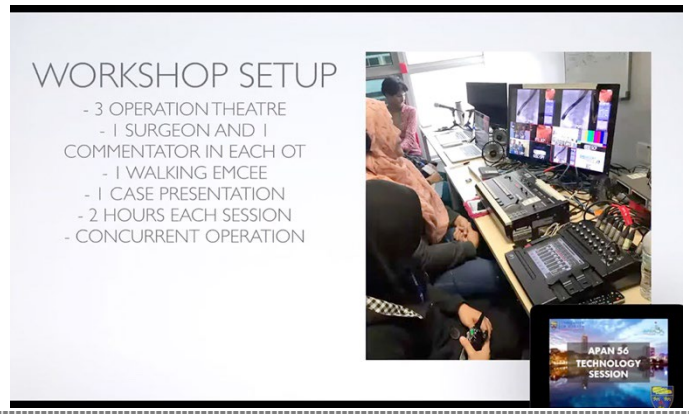
座長を務めるMr. Zahir

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院

接続を調整するエンジニア

撮影場所：九州大学病院